



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年9月27日

上場会社名 株式会社CFSコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 8229 URL http://www.cfs-corp.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 岳彦
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 上田 晃一 TEL 045 (476) 7474
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月2日 配当支払開始予定日 平成24年11月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年2月期第2四半期の業績（平成24年2月21日～平成24年8月20日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	53,643	2.2	12	△98.8	143	△88.4	△34	—
24年2月期第2四半期	52,512	—	1,048	—	1,230	—	△347	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	△0.98	—
24年2月期第2四半期	△10.01	—

- （注）1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在しておりますが1株当たり四半期純損失を計上しているため記載しておりません。
 2 23年2月期第2四半期は連結財務諸表を作成し財務諸表を作成していないため、24年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第2四半期	44,547	20,932	47.0	603.47
24年2月期	43,304	21,052	48.6	607.02

（参考）自己資本 25年2月期第2四半期 20,918百万円 24年2月期 21,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年2月期	—	4.00	—	—	—
25年2月期（予想）	—	—	—	4.00	8.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年2月期の業績予想（平成24年2月21日～平成25年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	—	1,200	—	1,400	—	500	—	14.42

- （注）1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有
 2 平成25年2月期は12カ月と8日の変則決算となるため、通期の対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期2Q	34,684,678株	24年2月期	34,684,678株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	20,810株	24年2月期	20,767株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期2Q	34,663,897株	24年2月期2Q	34,663,046株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるドラッグストア業界は、大きな傷跡を残した東日本大震災の復興への取組が図られるなか、消費の立ち直りが一部に見られるものの、企業間競争の激化や季節品の需要低迷等から、総じて厳しい状況となりました。

このようななかで、当社は中期3ヵ年経営計画の2年目の取組を強化し、既存エリアの収益力強化では調剤併設化の推進、営業時間の延長、食品ゾーンの強化をはじめ、カムズクラブカードと電子マネー「WAON」の一体型カードの発行、シニアシフトを意識した「HACらくらく便」、「HACイキイキ倶楽部」の展開等の取組を進めました。また、成長へ向けた新規出店、改装に引き続き注力しました。

当第2四半期累計期間における売上高は、特に取組を強化している調剤部門の売上高が前年同期比14.0%増と引続き順調に推移したものの、春先の花粉飛散量の減少等による季節品の需要低迷の影響から既存店の来店客数の減少もあって、前年同期に比し2.2%の伸びにとどまりました。売上総利益額は薬価改定の影響もあって微増にとどまっておりますが、販売費及び一般管理費は、電子入札を活用した資材調達コストの削減等があったものの、成長戦略を加速するために取り組んでいる新規出店や積極的な改装に伴う一時的な経費負担、成長戦略を支える専門人財の採用等により前年同期に比し大幅な増加を余儀なくされました。

店舗につきましては、自然採光や置換空調システムを取り入れた環境配慮型店舗の「小塚店」(名古屋市中川区)や新業態店舗の「れこっず茅ヶ崎小和田店」(神奈川県茅ヶ崎市)、「れこっず中山店」(横浜市緑区)の相次ぐ出店を含め、神奈川県7店舗、愛知県4店舗、静岡県、埼玉県各1店舗、合計13店舗を出店しました。この結果、当第2四半期末の店舗数は293店舗、うち調剤取扱店舗は102店舗となりました。また、調剤併設を含め狭域商圏対応の店舗への大型改装を20店舗で実施するとともに、業務提携先の薬樹株式会社とのコラボレーションによる次世代型店舗「ハックベリー美しが丘店」を既存店の改装によりリニューアルオープンさせました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は536億43百万円(前年同期比2.2%増)となりましたが、営業利益は12百万円(同98.8%減)、経常利益は1億43百万円(同88.4%減)にとどまりました。また、四半期純損失は34百万円となりましたが、前年同期に比して、資産除去債務等の特別損失がなくなったこともあって改善となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比較して12億43百万円増加し、445億47百万円となりました。これは、主に店舗数の増加等により「商品」が2億89百万円、「有形固定資産」が8億68百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ13億63百万円増加し、236億15百万円となりました。これは、主に法人税等の支払いにより「未払法人税等」が7億78百万円減少したものの、「買掛金」が8億83百万円、「長期借入金」が7億円増加したこと等によるものであります。

純資産は、配当金の支払い等により「利益剰余金」が1億72百万円減少したこと等から、前事業年度末に比べ1億20百万円減少し、209億32百万円となりました。この結果、自己資本比率は前事業年度末から1.6ポイント低下し47.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末と比較して2億2百万円増加し、24億47百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果、得られた資金は14億34百万円(前年同期に比べ1億4百万円の減少)となりました。これは、たな卸資産の増加による減少があったものの、仕入債務の増加や減価償却費によるものであります。

投資活動の結果、使用した資金は16億47百万円(前年同期に比べ4億86百万円の増加)となりました。これは、新規出店・改装等による有形固定資産の取得及び新規出店等の差入保証金の差入による支出等によるものであります。

財務活動の結果、得られた資金は4億15百万円(前年同期は3億58百万円の支出)となりました。これは、短期借入金の返済及び配当金の支払い等があったものの、長期借入れによる収入によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の状況を踏まえ、平成24年4月5日公表の前回予想を下回る見込みであることから、業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日公表の「通期業績予想の修正及び役員報酬の減額等に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年2月20日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,244	2,447
売掛金	2,609	2,220
商品	11,681	11,971
その他	4,073	4,047
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	20,608	20,685
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,755	13,382
減価償却累計額	△7,893	△8,214
建物(純額)	4,862	5,167
土地	3,531	3,456
その他	6,791	7,595
減価償却累計額	△4,385	△4,549
その他(純額)	2,406	3,045
有形固定資産合計	10,800	11,668
無形固定資産	674	724
投資その他の資産		
差入保証金	9,284	9,514
その他	2,062	2,078
貸倒引当金	△125	△125
投資その他の資産合計	11,221	11,468
固定資産合計	22,696	23,861
資産合計	43,304	44,547

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成24年2月20日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,486	10,370
短期借入金	1,000	600
1年内返済予定の長期借入金	2,260	2,530
未払法人税等	895	116
賞与引当金	456	512
ポイント引当金	1,127	1,259
その他	2,877	3,330
流動負債合計	18,104	18,719
固定負債		
長期借入金	1,100	1,800
資産除去債務	886	924
その他	2,160	2,171
固定負債合計	4,147	4,895
負債合計	22,251	23,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,092	7,092
資本剰余金	6,377	6,377
利益剰余金	7,671	7,498
自己株式	△13	△13
株主資本合計	21,127	20,954
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△85	△36
評価・換算差額等合計	△85	△36
新株予約権	11	13
純資産合計	21,052	20,932
負債純資産合計	43,304	44,547

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)
売上高	52,512	53,643
売上原価	37,067	38,120
売上総利益	15,444	15,522
販売費及び一般管理費	14,395	15,510
営業利益	1,048	12
営業外収益		
受取利息	17	18
受取配当金	137	66
固定資産受贈益	27	44
その他	47	57
営業外収益合計	231	186
営業外費用		
支払利息	27	26
その他	21	29
営業外費用合計	49	55
経常利益	1,230	143
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	7	—
特別利益合計	7	—
特別損失		
減損損失	14	74
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	569	—
退職給付制度終了損	290	—
その他	440	0
特別損失合計	1,314	75
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△76	67
法人税、住民税及び事業税	322	90
法人税等調整額	△51	10
法人税等合計	271	101
四半期純損失(△)	△347	△34

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△76	67
減価償却費	616	762
減損損失	14	74
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	569	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	62	55
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△19	131
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△523	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	93	—
受取利息及び受取配当金	△155	△84
支払利息	27	26
売上債権の増減額 (△は増加)	△39	388
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△727	△292
仕入債務の増減額 (△は減少)	328	883
その他	1,285	244
小計	1,455	2,256
利息及び配当金の受取額	141	70
利息の支払額	△26	△23
法人税等の支払額	△31	△869
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,538	1,434
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△774	△1,184
無形固定資産の取得による支出	△190	△135
差入保証金の差入による支出	△341	△521
差入保証金の回収による収入	294	258
その他	△149	△63
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,161	△1,647
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△400
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△220	△30
配当金の支払額	△138	△138
その他	△0	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△358	415
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	19	202
現金及び現金同等物の期首残高	2,866	2,244
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,886	2,447

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) セグメント情報等
該当事項はありません。
- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。